

大和の風

【第18号】令和8年1月8日発行

発行者 佐賀市立大和中学校

文責 木村 信人

<https://www.education.saga.jp/hp/yamato-j/>



学校目標：～夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成～



「思いやり」「優しさ」を忘れず、充実した3学期を！



明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年のお正月は、日本では、大雪で大変な地域もありましたが、ゆっくりと過ごせたお正月だったのではないのでしょうか。本日、始業式を迎えましたが、子どもたちの元気な顔を見ることができ、大変嬉しく思っています。これも、ご家庭や地域の方々のご協力のおかげと思っております。ありがとうございました。

さて、「一年の計は元旦にあり」という言葉について、2学期終業式の日に子どもたちに話をしましたが、子どもたちはどのような目標を立てたのでしょうか？私は、いくつか目標を立てましたが、その中の一つに「感謝を忘れない」という目標を立てました。私たちは、家族、友達、先輩・後輩や先生、そして地域の方々、また、日々の食事まで、普段の生活の中でたくさんの人や物に支えられています。誰かの努力や思いやりの上に成り立っています。しかし、忙しい日々の中で、その「ありがたさ」に気づく機会が少ないかもしれません。そこで、具体的な方法として、日々の中で自分を支えてくれている人や物に目を向け、「1日に一度は、必ず『ありがとう』という感謝の言葉を伝える」ということを実践していきたいと思えます。

三学期は一年の締めくくりであり、新たなスタートへの準備期間でもあります。3年生は、入試が目前に迫っており、自分の進路を、自分の力で切り開く大切な時期です。2年生は、生徒会のもと、大和中学校の中心を担っていく時期です。1年生は、来年度に向け、下級生の手本となるように中学校の学習や生活を定着、まとめる時期です。それぞれの学年で、最も重要な時期にあたります。この三学期を（3年生は39日、1、2年生は50日）目標や目的を持って日々過ごして欲しいと思っています。そして、その目標を達成するためには、毎日の努力が必要です。「小さな努力の積み重ねが、大きな成果を生む」という言葉がありますが、焦らず、一步一步進むことが大切です。たとえ失敗することがあっても、それを糧にして成長して欲しいと願っています。

一方で、目標や決意は自分がどうするか、自分をどうするかなど、自分のことに偏りがちです。そのことは悪いことではないのですが、自分のことに集中すればするほど、周りが見えなくなって、周囲が嫌な気持ちになっていたり、悲しい気持ちになっていたりするのを見失いがちです。自分だけの都合や気持ちで行動するのではなく、友達や家族、先生など、周囲の人に対する「思いやり」や「優しさ」を失わないでください。そうすることが、自分自身の目標の実現にもつながると思えます。

子どもたちには、三学期も全力で学び、新たな事に挑戦をして、成長してくれることを願っています。

そして、職員も全力で子どもたちをサポートし、一緒に充実した三学期を過ごしていきたいと思いますので、今後も変わらないご理解とご協力をお願いいたします。



生徒会役員の皆さん、大和中をよろしくお願いします！

2学期の終業式の日に、生徒会役員の認証式を行いました。生徒会役員は、本部役員（6名）と、9つの専門委員（30名）で構成されています（総勢36名）。認証式では一人一人が生徒会の始まりにふさわしい、力のこもったメッセージを全校生徒に届けました。大和中生徒会の良き伝統を受け継ぎつつ、積極的に新しい取り組みに挑戦し、大和中に新しい風を巻き起こしてくれることを期待しています。そして、生徒会役員だけでなく、2年生全員が学校の中心となり、一年生と協力して、来年度の大和中を素晴らしい学校にしていって欲しいと願っています。

（ホームページ用では、個人の名前や鮮明な顔写真は載せておりません）

（令和8年 生徒会専門委員会 組織一覧表）

本部役員	会 長	〇〇 〇〇 さん	副会長	〇〇 〇 さん	副会長	〇〇 〇〇 さん
	議 長	〇〇 〇〇 さん	書 記	〇〇 〇〇 さん	会 計	〇〇 〇〇 さん
総務委員	委員長	〇〇 〇〇 さん	副委員長	〇〇 〇〇 さん	書 記	〇〇 〇〇 さん
生活委員	委員長	〇〇 〇〇 さん	副委員長	〇〇〇〇〇〇さん	書 記	〇〇〇〇〇〇さん
保体委員	委員長	〇〇 〇〇 さん	副委員長	〇〇〇〇〇〇さん	書 記	〇〇 〇〇 さん
			副委員長	〇〇 〇〇 さん	書 記	〇〇 〇〇 さん
学習委員	委員長	〇〇 〇〇 さん	副委員長	〇〇 〇〇 さん	書 記	〇〇 〇〇 さん
文化委員	委員長	〇〇 〇〇 さん	副委員長	〇〇〇〇〇〇さん	書 記	〇〇 〇〇 さん
図書委員	委員長	〇〇 〇〇 さん	副委員長	〇〇 〇〇 さん	書 記	〇〇 〇〇 さん
厚生委員	委員長	〇〇〇〇〇〇さん	副委員長	〇〇 〇〇 さん	書 記	〇〇 〇〇 さん
			副委員長	〇〇 〇〇 さん		
美化委員	委員長	〇〇 〇〇 さん	副委員長	〇〇 〇〇 さん	書 記	〇〇 〇〇 さん
交通委員	委員長	〇〇 〇〇 さん	副委員長	〇〇 〇〇 さん	書 記	〇〇 〇〇 さん



終業式におこなった「生徒意見発表」では、4名の生徒が2学期の振り返りや、3学期の目標について発表しました。4人とも堂々と意見を述べ、素晴らしい意見発表でした。下に紹介します。(紙面の都合により、字が小さくなっております)

「2学期の反省と自分の課題点」1年4組 ○○ ○○ さん

2学期は、部活動の新人戦や文化発表会など様々な行事がありました。校外学習では、熊本へ行き、熊本城の歴史について知りました。しかし、帰りのバスで通るはずだった高速道路で事故があり、帰り道は大渋滞していました。「もしも帰ることができなかったらどうしよう。」と不安な気持ちになりました。しかし、クラスのみんなと絵を描くゲームをしたり、「なんとかかな」と声を掛け合ったりしているうちに、あっという間にバスは大和中学校に着きました。家に帰ると、当たり前のように家族が「おかえり」と言ってくれました。この一日で、私は友情の素晴らしさと当たり前前の尊さを改めて感じ、すべてのことが当たり前に行く訳ではないし、うまくいかなかったときにどう行動するかが大切だということを学びました。

また、前期末テストでは、学年で上位の成績を残すことができましたが、その後にあった実力テストでは、今までで一番悪い点数を取ってしまいました。このことから、いい点数をとれたとしても、油断してしまうと自分の成長が止まってしまうことが分かり、目標を達成した後、自分がどう行動するかが大切だということを、身をもって感じました。このような経験をふまえて、今後は友達に感謝の気持ちをもって接することや、次は悪い点を取ってしまうかも…という想像力をもって生活することが大切だと感じました。この冬休みは、休みつつも、自分なりの目標を持ち、周りとは比べて達成感を得るものではなく、過去の自分と比べ、一日の終わりに今日も自分なりに頑張ったと思えるような後悔のない3学期にしていきたいです。



「2学期を振り返って」1年5組 ○○ ○ さん

私が2学期頑張ったことは、文化発表会と合唱コンクールです。文化発表会では劇の役者を担当しました。役者の中でもダンスを担当し、振り付けや立ち位置を考えました。ダンスの経験者が多く、一人一人のやりたいことがぶつかったり、振りや曲を決めるのにとても時間がかかったりと、思い通りにいかないことがたくさんありました。私は、みんなに強く当たり、良くない言葉を使ってしまうこともありましたが、みんなが協力し、なんとか最後まで振りを完成させることができました。本番当日の朝、まだ完璧に踊れておらず、練習が必要な部分を練習するために集まりました。その結果、劇は成功し、見ている人を楽しませたり、笑わせたりすることができ、上手いかわりに悩んだりした分、とっても達成感を感じました。合唱コンクールでは、「輝くために」の伴奏を担当しました。夏休み前から練習を重ねてました。練習してもうまくいかず、落ち込むことや、上手くできるか不安になる気持ちでいっぱいでしたが、みんなが応援してくれたおかげで、最後まで弾きすることができました。本番前日は、夜遅くまで練習しました。とにかく、直前まで自分ができることを精一杯やろうと必死な気持ちでした。本番前はクラスみんなで円陣を組みました。みんなで円陣を組むと、みんなの気持ちが一つになった気がして緊張がほぐれました。本番は、今まで一番いい演奏ができました。結果は金賞をとることができませんでした。思い出に残る最高の合唱コンクールになったので良かったです。一年五組の仲間と協力しあったり、助け合ったりしたおかげでとてもいい合唱を作り上げることができました。一年五組はとても大切な仲間です。クラスのみんなと一緒にいれる限られた日数の中で、仲間を大切に生活していきたいと思っています。



「外側から見た自分」2年4組 ○○ ○○○ さん

十二月も終盤に近づき、二年生でいられるのも冬休みが終わればあと三ヶ月になってしまいました。皆さんは自分が今の学年になったという自覚は持てましたか？私はいまだに中学生になったという自覚をイマイチ持てず、まだ、小学校の延長線上にいる気分です。そこで、小学校と中学校を比べるために大きな違いについて考えてみることにしました。思いついたのは、やはり勉強の自主性とテストが大きく評定に影響する点でした。小学生では、なんとなく行っていたテストに、順位がつくことで比べる値ができてしまい、中学生に上がった当初はとても不安に感じました。思い返してみると、2学期ではそのことと似たような思いをしたことがいくつかあったことに気づきました。例えば、文化発表会の時や生徒会選挙のときです。私の周りには学校の行事活動などに率先的な人が多く、生徒会の書記に所属している人も多くいて、文化発表会では役者に抜擢されている友達もいました。そんな輝いて見える友達の姿を見て、私は文化発表会でも生徒会選挙でもステージに立ててない自分の姿がとてもむなしく思っていました。もっとも、ステージに立ってみんなに注目されることだけがすべてではありませんが、周りのみんながこんなにも行動をおこして毎日を一歩前進しているのに、その間自分は何をやっていたのだらうと。今まで人には得意不得意があるからと見限りつけて挑戦することを恐れていた自分がいたことに気づいてしまいました。近くに率先して挑戦できる友達が多かったことを盾に自分もできている気になって不安をなくそうとしていたのです。私は中学生になっても、自分を客観視できず、周りと劣っている部分を見つけることができていませんでした。ですが、2学期のこのような思いをきっかけに私は考え方を改め、比較することは一般的にはあまりよくないことだけれど、きちんと事実を見ることができれば、良い方向に考えが傾くこともあることを知りました。そして、友達と自分を比較したとき、「自分はなんであの子みたいにできないのだ」とネガティブに考えず、すごいと思ったことは素直に「どうすればそうできるのか」と考え、分析するほうが自分のためにもなると思うようになりました。そう簡単に考えを変えることはできませんが、意識するだけでも自分の成長につながる第一歩になるので、この思いを大事にしていきたいと思っています。



「がんばってきたこと」3年3組 ○○ ○○ さん

私が2学期、思い出に残ったことは、修学旅行です。修学旅行では、京都と大阪万博に行きました。京都では、金閣寺や北野天満宮などに行って京都の町並みなどから歴史的な背景を体験することができました。大阪万博では、ベルギー館に行ってウイルスや自然のことや他の国のことについて学ぶことができました。また、友達とアイスを食べたり、フェリーやホテルでご飯の時間やカードゲームで遊んだ時間、沢山写真を撮ったことがとても思い出に残っています。次に2学期に頑張ったことは、文化発表会と合唱コンクールです。私は今年、ピタゴラスイッチを展示しました。どんな仕掛けをするかや、何の材料を使うか考えるのが思ったより難しく、思い通りにビー玉が転がらなくて大変でした。でも、班のみんなと協力してとてもいい作品を作ることができたので良かったです。当日、作った作品で沢山の人が遊んでくれて、とても嬉しかったです。合唱コンクールでは、賞を取ることはできなかったけど、練習や本番で協力することが出来てクラスのみんなとの絆がさらに深まったと思います。練習の中で私が一番思い出に残っていることは、中庭で音源無しでみんなで歌を歌ったことです。ピアノの音がなくてちゃんと歌うことができるのか不安だったけど、最後まで歌うことができたのでとても驚きました。最後にこれから私が入試に向けて頑張りたいことは、得意な教科でも苦手な教科でも点数を上げることです。そのために分からない問題をそのままにせず、先生や友達に聞いて毎日習ったことを繰り返し復習して、覚えるまで解き続けていきたいです。

